報道関係各位

2008 年 6 月 9 日

ホクト株式会社

ブナピー※1の動脈硬化抑制作用
米国栄養学術誌 Nutrition Research 掲載のご案内

拝啓 初夏の侯、貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、特定健診がスタートし生活習慣病予防への関心が高まるなか、無理なく毎日摂取でき、メタボ予防に効果的な食品へのニーズが日増しに高まっています。

数々の食品の中でも、ダイエットに良いとして、長い期間ブームになっているキノコ類ですが、その中でも、ブナピー※1について動脈硬化抑制作用が認められるという報告が、米国の国際的な栄養学術雑誌「**Nutrition Research**」に 2008 年 5 月に掲載されましたので、ご通知致します。ご対応のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

《掲載内容について》

一般的に「新薬」の開発に使われる「ノックアウト・マウス※2」を用い、きのこを 3%添加した餌を与えたマウスの血中コレステロール濃度の変化、および動脈に形成される動脈硬化巣の面積を比較しました。本試験ではエリンギとマイタケとブナピーの 3 種類が使用されました。

その結果、試験に使用した全てのキノコにおいて、動脈硬化予防効果が認められましたが、特にブナピーにおいて顕著な予防効果が認められました。

このことより、ブナピーが他のきのこより優れた**動脈硬化予防効果**をもたらすことが、示唆されました。

【Nutrition Research とは】

米国で出版される、食品と健康に関する国際的な学術雑誌です。

栄養学・生命科学領域で、新規性があり、且つ優れた内容の論文が掲載されています。

※1 ブナピーとは、ホクトの開発した白色ブナシメジ（ホクト白 1 号菌：種苗登録品種第 13294 号）のことです。

また、ブナピーはホクト㈱の登録商標です

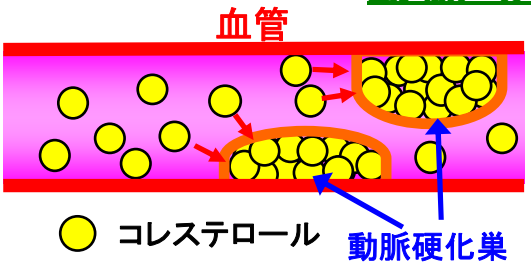
□本件に関するお問い合わせ先　ホクト株式会社　きのこ総合研究所

担当：稲冨　TEL：026-296-3211　FAX：026-296-3111

ブナピーの動脈硬化抑制作用

HOKTO

動脈硬化について

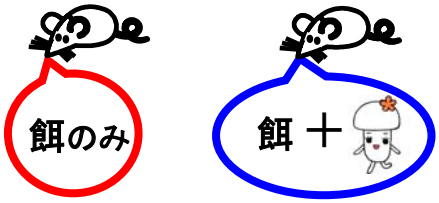


血管が詰まりやすくなり、
心筋梗塞
脳梗塞
大動脈瘤
などの原因になります。

血液中の過剰なコレステロールが、
動脈硬化の大きな原因となります。
血管壁にコレステロールなどがたまって、
動脈硬化巣ができます。

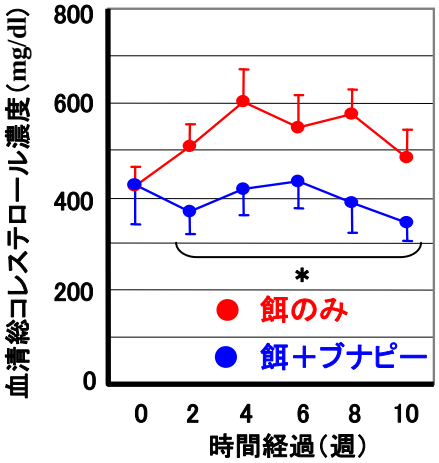
日本人の死因（H.17年　厚生労働省調べ）
第一位　ガン
第二位　心疾患（心筋梗塞など）
第三位　脳血管疾患（脳梗塞など）

動脈硬化モデルマウス を使った実験



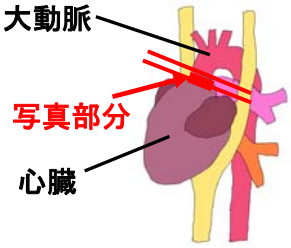
遺伝的に動脈硬化を発症するマウスに、
普通の餌、または、餌とブナピー（3 %）を与えて
10週間飼育しました。（各グループ 5匹）

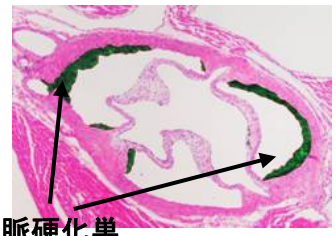
ブナピーによる血中コレステロールの低下



ブナピーによる動脈硬化巣形成の抑制

マウスの心臓と周辺の血管

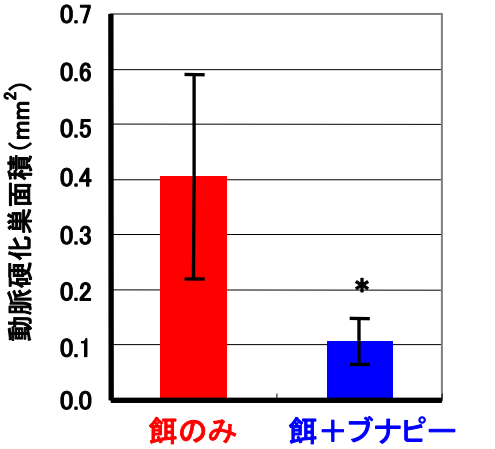




餌のみ

10週間目に、大動脈の
入り口にある動脈硬化巣
の大きさを測定しました。
（写真 緑色の部分）

餌＋ブナピー



＊:有意差あり (p <0.05)

ブナピーは、血中コレステロールを低下させて、動脈硬化を抑制する効果が期待できます。

※ 本件は,必ず動脈硬化を起こすように調整されたノックアウトマウスを使用した実験の結果、
白色ブナシメジのブナピーに動脈硬化を予防する効果があることが認められたとの報告です。
この結果についての新規性が認められ、2008年の5月にアメリカで発行されている栄養学の
国際的学術雑誌『Nutrition Research』に掲載されました。

※無断での複製・転載・使用を固くお断り致します。ブナピーはホクトの登録商標です。

ホクト株式会社　本社〒381－8533　長野市南堀138－1　TEL：026－243－3111（代表）